



広報

こしがわ

4月1日

昭和46年(1971) No. 397

編集

越谷市役所企画部広報課



とじて保存しましょう

■「これできまりだね」■

—老人の将棋大会ひらく—

越谷市老人クラブ連合会主催の第3回老人将棋大会は3月11日福祉会館老人娯楽室で26人が参加して行なわれました。大会はトーナメント方式で進められ、一手一手に緊張がみなぎる一方、時には、苦笑をうかべる1コマもありました。主な成績は次のとおりです。(敬称略)

- 1位 元木藤次郎(新方) 2位 瀬尾順三老(新方)
- 3位 飯塚高三郎(蒲生) 4位 秋山英之助(大相模)
- 5位 浜野仲蔵(大相模)

越谷市の人口

(昭和46年3月1日現在)
(住民基本台帳人口)

		前月比
総人口	14万4405人	845人増
男	7万3269人	434人増
女	7万1136人	411人増
世帯数	3万9491世帯	300世帯増

明るい町づくりに市民の声を
市政モニター募集



市役所では市政についてご意見や、ご感想をお寄せいただくためのモニターを募集します。

募集要領は次のとおりです。

▽モニターになれる方
満二十歳以上の越谷市民でモニター懇談会等に単身出席できる方(ただし越谷市役所職員は除く)

▽募集人員 二十人

▽任期 委嘱の日から翌年三月三十一日まで

▽報酬 薄謝を差し上げます。

▽応募方法 モニターになりたい方はあなたの住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記して、手紙または、直接市役所企画部広報課までお申し込みください。

なお、申し込みにあたっては次のテーマで四百字詰原稿用紙三枚以内の作文を提出してください。

テーマ 「私が市長に

なったら」

▽申込締切り 四月三十日

モニターは応募した方の中から選んで本人あて通知いたします。

市政モニターについてくわしくは、企画部広報課へ



熱心に議会を傍聴する市民の方々

住民生活を優先に 46年度を迎えた

日本経済の飛躍的発展に伴い、膨張は、生活優先の立場からの計画的な方向づけをまたずに地価の過度に集中した産業と人口増によって引き起された既成都市の急激な膨張…、土地は細分化され、道路や排水施設などの基礎的な都市施設が未整備のまま、市街地が拡大しています。このスプロール現象とよばれる無秩序な市街地の

具体的には、地域総合開発、幹線道路の建設、交通問題の解決、都市公害の防止、公共下水道の建設等、単に一つの行政体で処理するよりも、地域の行政体がグループとなり、連絡調整を十分密にし有機的、総合的、効率的に重複を排除して、公共投資を行なう必要性がいわれております。

越谷市も加わって、東部地区で広域行政連絡協議会を発足させたところでございますが、その将来の効果が期待されております。

市は、今や都市問題との戦いであるといつても決して過言でないと思えます。加えて自主財源が行政需要のパーセント三〇台という他力本願的な要素も加わり、課題は、解消するどころか、更に一層拡大しているでございます。

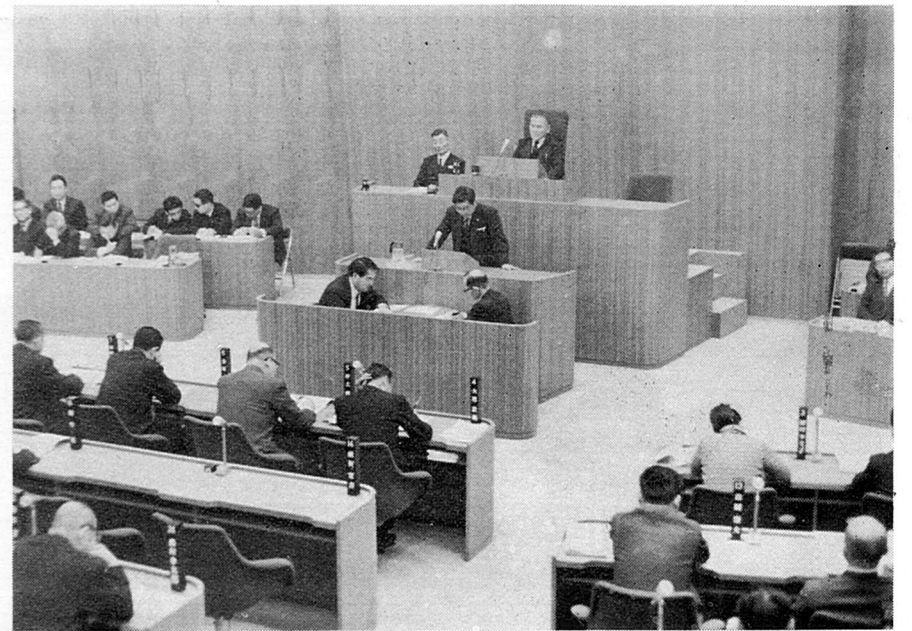
このような都市問題の解決には与えられた行政権限を有効に活用できる体制を確立していくことが、市政運営の急務であります。このことは住民自治を確立し、市民の福祉向上を図るための必要条件なのでございます。

市民に対する市の責任体制を確保していくために、政策の決定、計画、執行、行政需要およびその効果の測定等、総合的、組織的に行なわなければならない。情報管理体制を整備され、政策情報、経営情報の必要にして十分な情報収集がなされ、はじめて行政需要の適確な把握と実施の効果的な判断が行ないうると思えます。

もちろんこうした専門、複雑化した行政運営を根拠から支えるものは職員でございます。行政の実際の手にする職員に対し、合理的な人事管理を行なうことは市政の合理化、民主化のため、必要不可欠なこととでございます。その意味で職員の不満を解消し、そのもてる能力を十分に発揮し、志気を向上させるために能力主義人事管理を導入する必要があります。とも考えております。

最後に、市民意識の向上と市民全体による市政への参画により、批判と共に協力を惜しみなく与えていただき、真の越谷自治を確立し、住みよい環境樹立を願って止まないものでございます。

計画的な町づくり 市政の基本方針



長期的展望にたった行政で 美しい住みよい越谷を

昭和46年度の市政の方向づけをする3月定例市議会は去る3月9日から23日までの間、開かれましたが、この議会のはじめに島村市長は、総額63億5352万8千円にのぼる46年度の予算案を中心に新年度の基本方針を次のようにあきらかにしました。なお、これは一部要約したものです。

この原則のもとに合理的、総合的土地利用計画を策定し、土地利用を規制、指導する一方、都市施設整備のプログラムを確立し、その責任分担を明確にすることにより、秩序ある市街地の開発を促進してゆく必要を痛感いたします。

総合長期計画の必要性について一言ふれておきたいと思えます。国や地方公共団体が処理しなければならぬ事務は時代の進展とともに増大の一途をたどっており、また複雑さを加えています。膨大でしかも多岐な事務を漏れなく、かつ誤りなく、処理するために、国や地方公共団体において、その事務の目的や性格に応じて、それぞれ専門の部門を設け事務を分担処理しています。市の事務が膨大になり、その処理に高度の専門性、技術性が要求され、それに対応して行政機構が専門分化していくことが必然であるとするならば、そこに要請されるのは、行政各部門間の事務を総合調整して、行政の一体性を確保していくこととあります。

こうした行政の総合整理のための努力は重ねられてきたが、今後一層追求される必要があります。しかし地域社会の構造変動は、きわめて激しく、市が執行する事業には完成までに何年も要する大規模な事業が増大している…という状況にあっては、一年間を単位とする予算の編成やさらにはその執行の段階で、総合調整を十分に行うことは困難である場合があります。行政の総合調整は長期的展望に立った計画の段階で図られてはじめて効果的に果されるのであります。新都市計画にもつく市街化区域、市街化調整区域の有機率的用途を策定するため、都市計画の再検討および流通センター設立に合わせた市内消費活動の改善のための画策は、現段階においてさしあたり行なわなければならないこととあります。

今後「①都市環境の整備を図るための公共投資の拡充、社会的経費の改善を画するための産業、社会福祉、教育の充実という目標の達成に、②課題と施策を結びつけ、体系化を図ることにより、合理的政策決定を可能にし、③状況に即した部分修正を可能にし、計画と実際の間に大きなずれが生ずることを防ぎながら、常に一定期間の計画をもった行政運営を指向する」弾力的な長期総合計画の樹立と、その執行に傾注いたすつもりであります。

都市計画で 合理的な都市づくり

ここで、本年度の事業計画の概要について申し述べたいと存じます。

増大する行政需要、緊急に執行しなければならない事業の多々ある中で、限られた歳入に照らし、割愛に割愛を重ねた結果が本年度の予算でございます。

都市環境整備問題では

(1) 区画整理事業三地区(せんげん台、南越谷、東越谷第一)…：全体の都市計画の部分施行という観点に立って執行し、更に民間デベロッパーによる開発に對しても、市の都市計画に合わせ、行政指導を強化したいと存じます。

(2) 道路整備事業としては、一般道路と補助金導入による農道の二本立て実施し、少しでも早く舗装率の向上を図ってまいります。

(3) 都市計画街路事業は、越谷駅前広場の整備のための用地費および流通センターの建設の着手にあたり、越谷—吉川線の用地費を計上いたしました。

(4) 都市計画公園整備費…：総合公園の整備をしたい。

ほかに、保育所、老人医療費の福祉対策、教育関連にも最大限の努力をいたしました。

更に、市立病院建設事業のため調査、計画費を計上し、昭和四十七年を初年度として、三か年で完結できるように、計画いたしました。

生活をとりまく、あらゆる環境の変化に伴い、地方行政は質的に、量的にも変化し、複雑、膨大化した結果、新たな問題の解決に迫られているのは、周知のことと存じます。その一つは広い視野に立った広域行政による事務処理



この入場券には、あなたの投票所の略図が印刷してありますから、よくたしかめてください。

県議員選挙の有権者で、入場券がとどかない方は、市選挙管理委員会までお問い合わせください。

投票時間は
午前七時から
午後六時まで
せっかく投票しようと思っても投票時間が過ぎると、投票はできません。四月十一日の投票日にはなるべく早めに投票をすませましょう。

4月11日は投票日 県議会議員選挙

4月11日は統一地方選挙の県議会議員の選挙の投票日です。これから4年間の、私たちの県政をまかせる人を、私たちの手で定める日です。候補者をよく見、よく考え、よく聞いて、あなた自身が考え、判断した、自由な一票を投じましょう。

有権者は 九万二二三九人

今回の県議選の越谷市の有権者は男四万六五五六人、女四万五五六三人、計九万二二三九人です。投票できる方は、昭和四十五年十二月十五日以前から、引きつづき越谷市に住んでいる(住民基本台帳に登録してある)方で、昭和二十六年四月十二日以前に生まれ方です。

入場券は 郵送します

地図が書いてあります

選挙人名簿に登録されている有権者の皆さんへは、三月中旬に、入場券を郵便ハガキで発送しましたから、もう皆さんのお手もとに着いていることと存じます。

不在者投票を希望の方は

あなたが、仕事、旅行、病気などのため、投票日にどうしてもつごうわるい方は告示の日以後投票前日(十日)までの毎日、市選挙管理委員会に不在者投票の受け付けをします。投票日に投票できない理由を書いて、宣誓していただくだけでいままでのように、証明書などは、いらなくなります。

市議会議員選挙は 4月25日です

市議会議員選挙については、4月15日号広報こしがやでお知らせします。

3月定例会市議会

三月定例会市議会は、三月九日から二十三日まで、十五日間、市役所議場で開かれました。この議会には、当初市長から提出された新年度予算案など四十一議案のほか、三月十九日には、二議案を追加、また、三月九日には議員提案による市議会議員の定数条例を廃止する議案が提出され、部設置条例が一部修正されたほか、原案のとおり、可決されました。

なお、昨年十二月定例会から継続審査となっていた、昭和四十四年度一般特別会計の決算については、認定することにきまりました。主な議案の内容は、次のとおりです。

部設置条例を制定

四十六年度予算総額は六三億五三二万八千円に

六三億五三二万八千円に

市議会議員の定数は三十六人に増加

いままでは、越谷市の議会議員の定数は、条例により三十人と定められていましたが、今回この条例を廃止したため、地方自治法の規定により、ことしの市議会議員選挙から、三十六人(人口五万以上十五万未満の市)となりました。

公平委員に

小島誠氏を選任

前公平委員の上原麟之助氏が、三月十四日で、任期満了となったため、後任の委員として、小島誠氏を選任しました。

市の行政機構改革

四月から部制をとる

都市化が、激しい勢いです。越谷市の現状にふさわしい、行政機構をとることが、市政の運営に

重要であり、市民サービスも十分にこなせるようにするため、新しく四月一日から、部制をして市政をすすめることになりました。新しい部の名まえは次のとおりです。

人事秘書室、企画部、総務部、民生経済部、建設部。

敬老年金の改正

八十一歳から支給

七十歳以上のおとしよりに、安心して病気の治療をし、健康で長生きできるようにと、ことしの四月一日から、高齢者の医療費の助成する制度が、生まれ

ました。これは、国民健康保険に入っている方や、社会保険の扶養家族になつて七十七歳以上の老人が、病気で医者さんにかかったとき、支払った医療費(自己負担金)を全額、市から助成しようとするものです。

対象となる方は

医療費の助成を受けられる対象の方は、七十歳以上のお年より全員が該当するということで

(1) 国民年金法による老齢福祉年金を受けている方
(2) 国民年金法による老齢福祉年金の受給権者であつて、他の福祉年金(障害・準母子福祉年金など)を受けている方

高齢者の医療費助成がきまる

生活保護を受けている方は、除外されます。

医療費助成を受けけるには

これらの条件にあてはまる方は、市役所の調べでは、約一六〇〇人ほどいます。

右にあげた条件にあてはまっていない方は、医療費の助成がうけられるわけですが、そのためには、

いままでは、八十五歳以上のおとしよりに、市から敬老年金(年額六千円)を支給していましたが、ことし四月分からは、満八十一歳以上のおとしよりに支給するようになり、範囲がひろげられました。

いままでは、外国人は、国民健康保険に加入できませんでしたが、ことしの四月一日からは、朝鮮と韓国の方は、国民健康保険に加入することができるようになり、改正されました。また、四月一日から助産費は一万円、葬祭費は五千円にそれぞれ改正されました。

祭壇使用料が二千円に

市葬祭用具使用料条例の一部改正されて、ことしの四月一日から祭壇(三段飾つき)の使用料は二千円に改正となりました。

国民健康保険条例の改正

朝鮮・韓国人も加入できる助産費は一万円
葬祭費は五千円に

袋山の越谷診療所のうらに建設中であつた市立精神薄弱児通園施設(仮称越谷学園)は、正式にのみり学園と名付けられました。

精神薄弱児通園施設はみのり学園ときまる

袋山の越谷診療所のうらに建設中であつた市立精神薄弱児通園施設(仮称越谷学園)は、正式にのみり学園と名付けられました。

まず、受給資格の登録をして、「高齢者医療費受給資格証」を受け取ります。この登録のために、福祉事務所社会係では、該当の方々に通知を出して、手続きをすませていただく予定です。

「高齢者医療費受給資格証」を受けた方は、この票を、お医者さんの窓口にして、治療を受け、一たん、自己負担金を、支払ったあと、領収書をつけて、市役所へ、医療費の交付申請をしていただくわけです。

高齢者医療費の助成制度についてくわしいことは、福祉事務所社会係にお問い合わせください。

市立図書館

だより

第63回 経営について

とき 4月17日(土) 午後6時から9時まで
話し合う会

ところ 市立図書館資料室
主題 経営規模が拡大したので予算統制を導入したいが

とき 4月18日(日) 午後1時から
相談 古川栄一他監修

ところ 福祉会館 華道室
とき 5月16日(日) 正午から

ところ 武蔵野銀行越谷支店
とき 4月28日必着のこと

出句 当季雑詠三句 しめ切

出句先 越谷市越ヶ谷四一

一四 市立図書館内 越谷市俳句連盟宛

会費 二〇〇円(兼題出句と

同時に納めてください)

席題 二句(当日発表) しめ

切り午後1時30分

昭和46年度各会計別予算額

会計別	年度別	昭和46年度 予(千円)	昭和45年度 当初予(千円)	増減率 (%)
一 一般会計	計	46億1880万0	38億6240万0	19.6
二 特別会計	計	17億3472万8	15億4627万2	12.2
特別会計内訳				
国民健康保険事業勘定		6億2476万0	4億4306万0	41.0
国民健康保険直営診療施設勘定		1092万0	997万0	9.5
北越谷土地区画整理事業費会計		25万8	48万2	Δ 46.5
東小林土地区画整理事業費会計		7095万0	1億4804万0	Δ 52.1
南越谷土地区画整理事業費会計		2億1490万0	1億8352万0	14.6
東越谷第一土地区画整理事業費会計		9115万0	6402万0	29.8
千間台土地区画整理事業費会計		4億2098万0	2億8152万0	33.1
土地取得特別会計		3億0081万0	4億1566万0	Δ 38.2
合計		63億5352万8	54億0867万2	14.9

昭和四十六年度の、越谷市の予算は、一般会計が四六億一八八〇万円、特別会計が一七億三四七二万八〇〇〇円で、総予算額は、六三億五三五二万八〇〇〇円となり前年度当初予算の一四・九％の増加です。

各会計別の、四十六年度予算額は、左の表のとおりです。

昭和四十六年度の予算編成では、行政需要が増大し、緊急にとりかからなければならない事業が、たくさんある中で、次のものが、

① 都市環境の整備（千間台・南越谷・東越谷第一区画整理、一般道路の舗装整備、越谷駅前広場整備のための用地費、流通センター建設にあたっての越谷―吉川線（都市計画道路）の用地費計上、総合公園の整備）

② 保育所、老人医療等の福祉対策、教育費の充実

③ 市立病院建設のための調査費

四十六年度の予算は 一四・九％の増加

昭和46年度特別会計予算内訳

国民健康保険事業勘定

歳入 (千円)	歳出 (千円)
国民健康保険税 2億5374万7	総務費 3071万4
使用料および手数料 46万2	保険給付費 5億7645万0
国庫支出金 3億2486万0	保健施設費 1564万6
県庫支出金 15万8	基金積立金 14万5
財産収入 14万5	諸支金 60万0
附入金 1	諸予備費 52万5
繰入金 4000万1	繰入金 68万0
繰上金 250万0	
繰下金 288万6	
歳入合計 6億2476万0	歳出合計 6億2476万0

国民健康保険直営診療施設勘定

歳入 (千円)	歳出 (千円)
診療収入 799万9	総務費 913万3
使用料および手数料 8万5	医業支出 165万1
財産収入 1	諸予備費 1
繰入金 200万0	繰入金 13万5
繰上金 50万0	
繰下金 33万5	
歳入合計 1092万0	歳出合計 1092万0

北越谷土地区画整理事業費会計

歳入 (千円)	歳出 (千円)
繰上金 1	換地清算金 25万8
繰入金 25万5	
繰下金 2	
歳入合計 25万8	歳出合計 25万8

東小林土地区画整理事業費会計

歳入 (千円)	歳出 (千円)
事業収入 6892万0	総務費 539万3
繰入金 1万0	事業費 533万7
繰上金 1万0	事業債費 5751万8
繰下金 200万0	換地清算金 200万0
繰入金 1万0	繰入金 70万2
歳入合計 7095万0	歳出合計 7095万0

南越谷土地区画整理事業費会計

歳入 (千円)	歳出 (千円)
繰入金 500万0	総務費 1244万2
分担金および負担金 2億0788万0	事業費 1億8655万8
繰上金 1万0	事業債費 1360万0
換地清算金 200万0	換地清算金 200万0
換地収入 1万0	諸予備費 30万0
歳入合計 2億1490万0	歳出合計 2億1490万0

東越谷第一土地区画整理事業費会計

歳入 (千円)	歳出 (千円)
繰入金 350万0	総務費 880万2
分担金および負担金 3663万0	事業費 7820万0
繰上金 1万0	事業債費 294万8
換地清算金 100万0	換地清算金 100万0
換地収入 1万0	諸予備費 20万0
市債収入 5000万0	
歳入合計 9115万0	歳出合計 9115万0

千間台土地区画整理事業費会計

歳入 (千円)	歳出 (千円)
繰入金 500万0	総務費 1803万3
分担金および負担金 1億6546万0	事業費 3億7952万0
繰上金 1万0	事業債費 2247万7
換地清算金 50万0	換地清算金 50万0
換地収入 1万0	諸予備費 45万0
市債収入 2億5000万0	
歳入合計 4億2098万0	歳出合計 4億2098万0

土地取得特別会計

歳入 (千円)	歳出 (千円)
財産収入 1億7029万5	事業費 2億9853万0
繰上金 50万0	事業債費 228万0
繰下金 1億3001万5	
歳入合計 3億0081万0	歳出合計 3億0081万0

くみ取り確認伝票が新しくなりました

四月一日から、くみ取りの確認伝票が新しくなり、すでに自治会または市の集金人からお手元に届いたことと思いません。

この確認伝票は、くみ取りの際に必要ですので、大切にしまっておいてください。

なお、確認伝票の取り扱いについては、次の点にご協力ください。

○ 定額制（人頭割）の確認伝票にはあらかじめ住所、氏名を記入しておいてください。

○ くみ取りの際、必ずず人員（〇歳から）を記入して作業員に渡してください。

○ 留守のため、確認伝票がもらえませんか作業上いろいろと支障をきたします。留守の時はポストの中に入れて明示するかまたは、便所の窓下にビニール袋へ入れ、さげておいてください。

○ 確認伝票は、くみ取った月分を切り取って、作業員に渡してください。

○ 赤券の使用については、月二回くみ取る対象世帯（小さい便槽のところ）です。

くみ取りのことについては衛生課（64―111―1内線二六八）へお問合わせください。

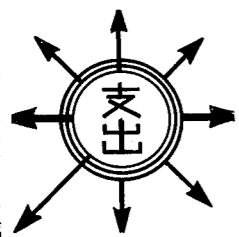
一般会計歳入

項目	万円	前年比
税金	17億4680	39%増
市自動車取得税	4200	5% "
地方交付税	12億5000	6% "
交通安全対策特別交付金	400	一
分担金及び負担金	4076	37%増
分用庫支	1億5585	27%増
国庫支	3億7394	2% "
国庫収入	9501	79% "
支産	398	3% "
支	2億5500	115% "
附越収	2500	25% "
収	3億3746	39% "
入	2億8500	20% "
歳入合計	46億1880万円	20%増

一般会計歳出

項目	万円	前年比
議総民衛農商土消教災公諸予	5826	43%増
歳	6億0225	4% "
出	6億1379	56% "
合	5億2403	69% "
計	1億0970	27% "
	3948	64% "
	9億4486	1% "
	1億5475	3% "
	11億2406	24% "
	2	一
	3億0924	100% "
	1億3336	50%減
	500	25%増
歳出合計	46億1880万円	20%増

諸支出金

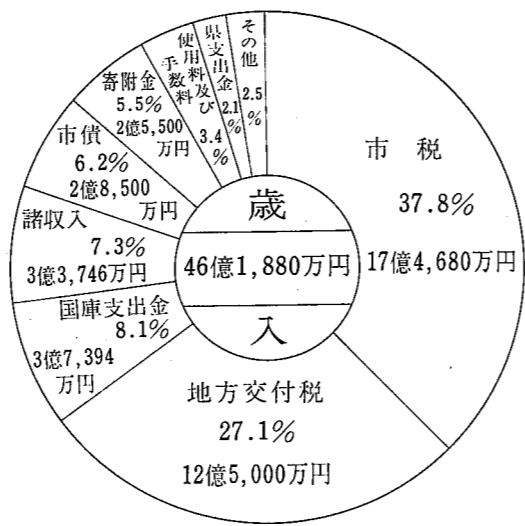


前年度より、七〇〇〇万円を減額しました。この内訳は、土地取得特別会計への繰出金一億三〇〇〇万円が主なものです。

予備費

前年度より一〇〇〇万円を増額しました。

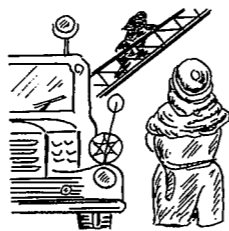
昭和46年度一般



区画整理特別会計繰出金(四會計)として一三二一〇万円、街路事業費(駅前広場、越谷吉川線用地購入)として一億四三三三万円を、都市下水路費として、六五〇万円、排水路整備費とし

て九〇〇〇万円、合計四億一七三三〇〇万円を計上しました。△公園費では、越谷総合公園整備工事費四五〇〇万円、中川河川敷緑地整備工事費三〇〇万円を計上しました。

消防費



△公共下水道事業では、下水道工事費として二七〇〇万円、原材料費として、一三三三万円を計上しました。

教育費



△小学校費で父兄負担の軽減を目的として、八〇〇万円を計上しました。

公債費



市の学校建設や都市計画事業、保育所建設など、各種公共施設等の建設のために、国などから借り入れたお金を、返済するための元金と利子で、前年度より、一億五四八九万円増額しました。

災害復旧費

前年度と同額の二万円を計上しました。

春の一日を施設めぐりで



みなさんの住んでいる市にどんな公共施設があるか知っていますか。うらかな春の一日を施設めぐりでおすごしになってはいかがでしょう。今月は二十八日に、次の施設を見学します。

- ①学校給食センター ②東部清掃組合(こみ、し尿処理場)
- ③老人ホーム ④北部浄水場
- ⑤御旗場(宮内庁) ⑥消防署谷中分署。

当日は昼食をお持ちください。また、マイクロバスで施設を巡りますので、お子さん連れはご遠慮ください。

団体で施設を見学したいみなさんは、広報課(でんわ六四二二一)にお問い合わせください。歓迎いたします。

一般会計 四十六年度予算のあらまし

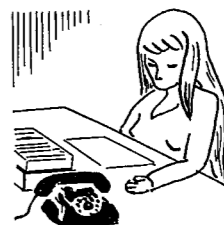
三月定例市議会で可決された昭和四十六年度一般会計予算は、昨年度当初予算と比べて一九・六%増の四六億一八八〇万円となりました。この予算の中で各科目の主なものは、次のとおりです。

議会費



議会費は前年度当初と比べて(以下)いずれも前年度当初と比べて

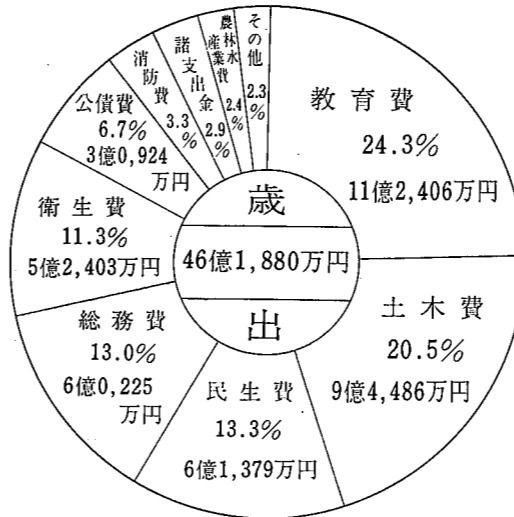
総務費



総務費は、前年度に比べて二五二八万円の増額となっています。▽一般管理費は一般職、および特別職の給与、諸手当、各種負担金、交付金などを含んでいます。▽人事管理費では職員的能力開発のための研修費一一五万円を計上しました。

会計予算の割合

(千円以下4捨5入)



民生費



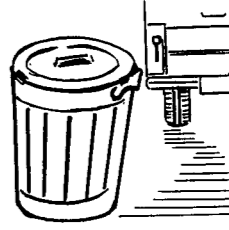
民生費は総額で、前年度と比べて六五五七万円の増額となっています。老齢者の医療費助成のための費用を一〇〇〇万円、新設保育所(一か所)の建設事業に二二〇〇万円、精薄児通園施設の運営費に一一五七万円、敬老年金に二四〇万円を計上しました。

水費



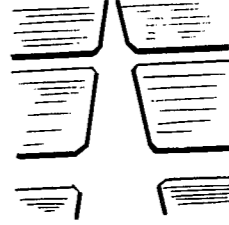
農林水産費は、前年度と比べて、二二五七万円増額しました。農道舗装と排水路整備工事費として二七五九万円、農業振興事業費(各種補助金)一七六六万円を計上しました。

衛生費



衛生費は、総額で前年度と比べて二億一四七二万円を増額しました。△公害対策では各種公害測定器具購入費一八〇万円を計上しました。

土木費



土木費は、総額で前年度と比べて七三三万円増額しました。▽道路維持補修費では、砂利購入費五〇〇〇万円、舗装道等補修費一四〇〇万円、護岸工事費一三六九万円など、計八七六九万円を計上しました。

商工費



商工費は、総額で前年度に比べて、一五三三万円増額しました。中小企業近代化資金(預託金)として一〇〇〇万円、ネオンアーチ設置工事費一〇〇万円を計上しました。

料理教室 会員募集

福祉会館料理教室では、五月から開講する四十六年度春期会員を募集しています。

講習日 毎週
火曜日午後10時クラス
水曜日午後1時30分クラス
水曜日午後6時クラス
募集人員 各クラスとも40名
費用 入会金一、〇〇〇円、授業料月額七〇〇円、材料費月額八〇〇円、テキスト代月額一五〇円
申し込み 越谷市福祉会館(電話62-18126)

海外留学生募集

国際ロータリー第三五七地区(千葉、埼玉両県)では、毎年諸外国の希望の大学へ一か年の留学生を派遣しており、現在明年度(一九七二年の秋から)の留学希望者(三名)を募集中です。

補助金は、往復旅費、学費、生活費等を支給し、希望によって学年開始前に留学国で、四週間の語学力強化訓練期間の費用も支給されます。

希望者は、至急、埼玉銀行越谷支店内、越谷ロータリークラブへ申し込みください。

広報こしがや 第三九七号

燃えないごみの収集日

4月16日から30日まで

とき	曜	と	こ	ろ
4月16日	金	北越谷3, 4丁目, 越ヶ谷本町, 中町, 蒲生寿町 (東武線の西側)		
17日	土	北越谷5丁目, 柳町, 御殿町, 蒲生旭町		
19日	月	大沢1, 2丁目, 東柳町, 元柳田, 蒲生愛宕町		
20日	火	大沢3, 4丁目, 赤山町1, 2丁目, 蒲生登戸町		
21日	水	大沢5, 6区, 蒲生登戸新田(蒲生登戸西町会), 赤山町3, 4丁目		
22日	木	増林(定使野1, 2, 前波, 上組, 中組, 下組, 城の上, 林西川), 赤山町5, 6丁目, 南越谷1, 2丁目		
23日	金	増森(森西川, 新田, 本田1, 2), 宮前, 東宮前, 宮浦雇用促進事業団, 南越谷3丁目		
24日	土	中島, 花田, 相模町(旧西方), 瓦曾根1, 3丁目		
26日	月	東小林(大淵, 野中, 上側, 根郷, 不動橋, 松栄町), 大成町(旧見田方, 旧東方), 瓦曾根2丁目		
27日	火	別府, 四条, 千疋, 東町(旧南百)		

昭和三十一年八月五日第三種郵便物認可
昭和四十六年四月一日発行(毎月二回1日, 15日発行)

発行・埼玉県越谷市役所 編集・企画部広報課
越谷市越ヶ谷四丁目二番一号 郵便番号三四三三

電話 0489-64-1111



犬の登録と 予防注射

上の犬は受けてください。
登録手数料 一頭につき三〇〇円
注射手数料(済票とも) 一頭につき三〇〇円

犬の登録と
予防注射
と第一回春の狂犬病予防注射を行います。
生後91日以
金塚倉庫前 15日 午前 新方公民館前 午後 船渡香取神社前、民館前
16日 午前 増林公民館前 午後 増森神社社務所前、19日 午前 南百集会所前 午後 大相模農協



時間は午前9時30分から11時30分まで、午後は1時から3時までです。
4月12日 午前 川柳第四倉庫 午後 南団地自治会会所前、
13日 午前 久伊豆神社入口 午後 北越谷記念会館前、14日 午前 下間久里倉庫前 午後 山谷

胃ガンの 集団検診

市では、成人病予防対策の一環として次のとおり胃ガン集団検診を行います。
4月7日(水) 出羽旧支所
8日(木) 蒲生公民館
9日(金) 蒲生公民館
10日(土) 増林公民館
12日(月) 桜井小学校
13日(火) 福祉会館
14日(水) 大袋農協会議室
15日(木) 市立第一体育館
16日(金) 荻島公民館
17日(土) 川柳農協会議室
19日(月) 大相模公民館
20日(火) 新方公民館
21日(水) 福祉会館

支店前 20日 午前 大道香取神社前 午後 蒲生一丁目集会所前
21日 午前 西新井農協倉庫前 午後 荻島農協支店前
※22日以降の日程は次号でお知らせします。

ポリオ生ワクチンの 授与

小児マヒ予防のためポリオ生ワクチンの授与を次のとおり行ないます。
該当者 昭和44年7月1日から昭和45年9月30日までに生まれた乳幼児
受付時間 各会場 午後1時30分から2時30分まで
持参する物 問診票(内容記入), 母子手帳, スリッパ
該当する住所地でお受けください。



とき	曜	ところ	該当する住所地
4月8日	木	市立体育館	北越谷
9日	金	市立体育館	大沢, 神明町
12日	月	蒲生公民館	蒲生, 蒲生本町, 愛宕町
13日	火	越谷保健所	相模町, 大成町, 東町, 東方, 西方, 見田方, 四条, 南百, 別府, 千疋
14日	水	蒲生公民館	登戸, 蒲生東町, 蒲生南町
15日	木	越谷保健所	東小林, 花田, 増林, 増森, 中島
16日	金	越谷保健所	御殿町, 弥生町, 赤山町, 柳町, 東柳田町, 本町, 元柳田町
19日	月	越谷保健所	瓦曾根, 宮本町, 谷中町, 越巻
20日	火	越谷保健所	南荻島, 砂原, 小曾川, 野島, 西新井, 長島, 北後谷
21日	水	蒲生公民館	蒲生旭町, 蒲生西町, 蒲生寿町, 塚塚, 川柳町, 上谷, 伊原
22日	木	市立体育館	大道, 恩間, 三野宮, 大房, 大竹, 恩間新田, 大林
23日	金	市立体育館	大里, 大泊, 上間久里, 大吉, 弥十郎, 北川崎, 向畑, 大杉, 大松, 船渡, 弥栄町
26日	月	蒲生公民館	大間野, 七左エ門
27日	火	越谷保健所	越ヶ谷, 南越谷
28日	水	市立体育館	袋山
30日	金	市立体育館	下間久里, 平方

おこわり
今回は、三月定例会市議会関係の記事を特集したため、紙面に余裕がなくなりましたので、市史編さんだよりは、休ませていただきます。

越谷市謡曲協会 「春の会」
とき 4月3日(土) 午後1時30分
ところ 足利銀行越谷支店
会費 一〇〇円
番組 吉野天人・草子洗小町 熊野・杜若・藤戸をご用意ください。



休日当直医

4月16日から30日まで

= 4月18日 =
内科系 中尾医院 (蒲生愛宕町) 62-3007
産科系 堀中医院 (越ヶ谷) 62-5331
外科系 大袋医院 (袋山) 75-1607
= 4月25日 =
内科系 今井医院 (蒲生旭町) 62-7713
産科系 横田診療所 (越ヶ谷) 62-5454
外科系 岩崎病院 (蒲生旭町) 64-2325
= 4月29日 =
内科系 南埼玉病院 (増森) 82-3611
産科系 田口医院 (大沢) 62-2264
外科系 名倉医院 (蒲生寿町) 63-0123

無料健康相談 とき 4月7日(水) 午後1時半から3時 ところ 市役所健康相談室(1階)